

科目名	専門演習Ⅲ Seminar III						
科目担当者	今枝 昌浩 IMAEDA Masahiro						
単位数	4	配当年次	4 年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科 [区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科 [専門教育科目 演習] 他学部他学科履修×					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	憲法に関して生じている諸問題について、自らテーマを選択し、研究計画を立て、文献リサーチを通じて自身の研究を卒業論文としてまとめる。また、報告発表や質疑応答を通して、各自の問題意識および研究内容をゼミ生で共有し、法的な議論の作法を学ぶ。						
授業の到達目標	①自ら課題を設定し、計画を立て、それを実行することができる（卒業論文の完成）。 ②自ら設定したテーマについて、関連する学術文献をリサーチし、根拠をもった説得力ある法的な文章をつくることことができる。 ③自らの問題意識および主張を、他者（ゼミ生）に分かり易く説明することができる。						
授業計画・内容	1	オリエンテーション			16	卒業論文作成：第 2 章	
	2	卒業論文の書き方			17	卒業論文指導：第 2 章	
	3	卒業論文作成・指導：テーマ設定			18	卒業論文作成：第 3 章	
	4	卒業論文作成：資料収集			19	卒業論文指導：第 3 章	
	5	卒業論文指導：資料収集			20	卒業論文作成：第 4 章	
	6	卒業論文作成：論点整理			21	卒業論文指導：第 4 章	
	7	卒業論文指導：論点整理			22	卒業論文作成：おわりに	
	8	卒業論文作成：構成・目次			23	卒業論文指導：おわりに	
	9	卒業論文指導：構成・目次			24	事前審査（1）	
	10	中間報告（1）			25	事前審査（2）	
	11	中間報告（2）			26	事前審査（3）	
	12	卒業論文作成：はじめに			27	卒業論文報告会（1）	
	13	卒業論文指導：はじめに			28	卒業論文報告会（2）	
	14	卒業論文作成：第 1 章			29	卒業論文報告会（3）	
	15	卒業論文指導：第 1 章			30	卒業論文提出	
授業外学修 （事前学修）	各自の研究計画に沿って、参考文献のリサーチおよび卒業論文の執筆を進める（毎週 2 時間程度）。						
授業外学修 （事後学修）	授業で受けた指摘や助言を踏まえて、適宜修正し卒論執筆を進める（毎週 2 時間程度）。						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応
	報告発表および卒業論文の内容に基づき評価する。				100%		①、②、③
成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	山元一（編著）『トピックから考える日本国憲法』（北大路書房・2023 年）						
参考文献	各自の選択テーマに合わせて適宜指示・助言する。						
その他	論文の執筆は孤独な作業ですが、実は仲間と話し合い、励まし合いながら進めることも重要です。						